

## 市長メッセージNo.59

～第8波が到来！～ 基本的な感染対策の徹底と、検査・医療の適正利用を！！

### 【感染状況】

県内では連日、新型コロナ新規陽性者数が前週の同じ曜日を上回り、第7波のピーク時の約3,500人に迫る勢いで急拡大しており、福島県は第8波に突入しました。

福島市内でも、保育所・幼稚園の休園、学校の学級閉鎖が第7波のピーク時同等に増加するとともに、高齢者施設(今月だけで16施設)や医療機関でクラスターが頻発し、市内の確保病床使用率は6割を超え、救急搬送困難事例が増加、医療従事者の不足により診療体制を縮小せざるを得ない医療機関も生じるなど、医療提供体制の負荷が急激に高まっています。

### 【感染防止対策】

年末年始を迎え、新型コロナの感染はさらに拡大し、インフルエンザとの同時流行も想定されており、医療ひっ迫が懸念されます。

市民の皆さまには、医療と命を守りながら、様々な活動を継続・拡大していけるよう、次のような対策の徹底をお願いします。

1. 冬場を迎え、室内でのマスク着用や十分な換気を行うなど、基本的な感染防止対策を徹底してください。(参照:別紙1)マスクと換気で感染リスクの低減を、別紙2「自分が感染しない、他人にうつさない」～3つのお願い～)

2. 症状や重症化リスクに応じた検査・医療の利用をお願いします。(参照:別紙3)症状に応じ、検査・医療の適正利用を！)

①無症状で、感染に不安のある方

- ・薬局等での無料検査
- ・土日・祝日限定の無料検査所(市保健福祉センター駐車場北側)

②軽症で、重症化リスクの低い方

- ・抗原検査キットで自己チェック
- ・手元に抗原検査キットがない方は、福島県新型コロナ検査キット配送センターに配送を申し込みいただけます。

③高齢者、基礎疾患のある方、妊婦、就学前の子どもなど重症化リスクの高い方、症状が比較的重い方

- ・かかりつけ医又は福島県受診・相談センター(0120-567-747)に電話連絡の上、受診してください。

3. 救急車や医療機関の適正な利用をお願いします。(参照:別紙4)救急車・救急外来の適正利用にご協力を！)

①緊急性の低い方の救急車の利用は厳にお控えください。

②急を要する場合以外は、休日・夜間の利用はお避けください。通常の診療時間内に受診しましょう。

③夜間に受診するか迷ったら、「夜間救急相談#7799」や「子ども救急ダイヤル#8000」をご利用ください。

4. 急な体調不良に備え必需品の用意をお願いします。(参照:別紙5)新型コロナ・インフル同時流行に備えよう！)

- ・解熱鎮痛薬やせき止め ※薬は薬剤師に相談の上、ご購入願います
- ・抗原検査キット(体外診断用医薬品又は第一種医薬品を推奨)
- ・食料、日用品 など

## 5. 早め(できる限り年内)のワクチン接種をご検討ください。

- ①9月末まで2回以上完了した方は、オミクロン株対応ワクチンの年内接種が可能です。
- ②若年層や働く世代でも受けやすくするため、12月に夜間接種を集中的に実施します(下枠)。福島大学キャンパス内での接種も実施します。
- ③生後6か月以上の方は新型コロナワクチンの接種が可能です。乳幼児向け接種機会を拡充し、予約が可能になっています。
- ④インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。こども・妊婦や高齢者には助成を行っていますので、早めに接種をご検討ください。

### 【12月の夜間接種】

実施日 2・9・16・23日の金曜日、7・14・21日の水曜日、22日(木)、27日(火)の9回

受付時間 午後5時30分から7時15分

使用ワクチン オミクロン株対応ワクチン(ファイザー・モデルナ社製)

予約受付人数 約1,100人

予約開始日 11月25日(金)午後5時から ※一部の日程は公開済み

令和4年11月24日  
福島市長 木幡 浩

## 別紙1 マスクと換気で感染リスクの低減を

場面に応じて、マスクを正しく着用し、  
常時又は定期的な換気続け、感染リスクを低減しましょう。

- 会話を行う場合は、屋内・屋外を問わず、  
**マスクを着用**しましょう。



- **十分な換気量を確保**しましょう。

(機械換気装置による常時換気、2方向の窓開け換気、換気扇の活用、二酸化炭素濃度計の設置等  
※二酸化炭素濃度計の測定で1,000ppm以下が良好な換気状態です)

- 室内温度が下がる場合もあるため、

**暖かい服装(ウォームビズ)で体温調節**を行いましょう。



二酸化炭素濃度計  
本庁、支所、学習センター等の  
会議室等でも活用

警戒を緩めることなく感染防止対策をしっかりと行って、別紙2  
活動との両立を図りましょう!!

## 「自分が感染しない、他人にうつさない」~3つのお願い

- ① 休憩、会食時など気持ちが緩む場面でも、会話時のマスク着用や換気をお忘れなく！人と人との距離に十分注意し、密をつくらないようにしましょう。
- ② のど、咳、熱など体調に異変を感じたら外出を控えて下さい。症状等に応じ、検査・医療を適切に利用し、早期確認を！
  - ・無症状 → 薬局等での無料検査
  - ・軽症で重症化リスクの低い方 → 抗原検査キットの配布
  - ・軽症でも高齢者・基礎疾患のある方、妊婦、就学前のこどもなど、重症化 → 医療機関に連絡・受診  
リスクが高い方、症状が比較的重い方
- ③ 身近に体調の悪い人がいたら注意信号！  
受診・検査を勧めるとともに、いつもより感染防止を強化し、警戒を強めてください。

## 別紙3 症状に応じ、検査・医療の適正利用を！

### 無症状の方で、感染に不安のある方

- (1) 薬局等での無料検査
- (2) 土日・祝日限定の無料検査所（市保健福祉センター北側駐車場）  
・福島薬剤師会無料検査予約サイトからオンライン予約

### 軽症の方で、重症化リスクの低い方

抗原検査キットでセルフチェック  
○福島県新型コロナ検査キット配布センター  
Web（24時間受付）又は電話（0120-941-546 毎日9:00~19:00）で申し込み  
※検査の結果、陽性となった方は、陽性者登録センターに登録を

### 高齢者、基礎疾患がある方、妊婦、就学前のこどもなど重症化リスクが高い方、症状が比較的重い方

かかりつけ医、診療・検査医療機関又は福島県受診・相談センター（0120-567-747：毎日24時間対応）に電話連絡の上、受診してください

市内確保病床使用率が  
**6割超え！！**  
(R4.11.20現在)

### 守り

- ワクチン2刀流  
コロナ+インフル
- マスク着用
- 十分な換気

### & 備え

- 解熱鎮痛薬
- 抗原検査キット  
（「体外診断用医薬品」又は「第1類医薬品」）
- 食料、日用品

## 別紙4

# 救急車・救急外来の適正利用にご協力を！

市内の**確保病床使用率が6割**を超えるなど、医療体制の負荷が高まっています。  
急を要する場合以外は、救急外来や休日・夜間診療は避け**通常の診療時間内**に受診しましょう。

夜間に受診を迷ったら…



### 夜間救急相談 #7799 (毎日19時～翌朝8時)

夜間に急な病気やけがをした際、応急手当の方法、受診や救急車要請の必要性に対して専門家による助言が受けられます



### こども救急ダイヤル #8000 (毎日19時～翌朝8時)

夜間急に子どもの身体の具体が悪くなった時、家庭で可能な対処法などについてのアドバイスをし、必要があれば受診可能な医療機関を案内します



◇コロナに関することは  
福島県受診・相談センター 0120-567-747 (毎日24時間)

## 別紙5

# 新型コロナ・インフル同時流行に備えよう！

新型コロナとインフルエンザの同時流行で、医療機関がとても混雑する可能性があります。  
急な体調不良の時に慌てないよう、解熱鎮痛薬などを用意しておきましょう！



### Withコロナ時代の必需品

解熱鎮痛薬

抗原検査キット

(体外診断用医薬品又は第1類医薬品)

せき止め

食料、日用品など

種類がたくさんあって迷う？

そんな時は…

薬局やドラッグストアの  
薬剤師または登録販売者に  
相談しましょう！

65歳以上の方、基礎疾患がある方、妊婦など、重症化リスクが高い方は、速やかにかかりつけ医等の医療機関を受診してください。

## 早期のワクチン接種にご協力を！



### ○オミクロン株対応ワクチンの年内接種を！

<目的>重症化予防+感染予防、発症予防

<対象>2回目まで接種を終了した全ての12歳以上

\*オミクロン株対応未接種の方(2回以上接種済み)は、前回終了後**3か月**でオミクロン株対応ワクチンを接種できます。

インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの  
接種間隔に決まりはなく、同時接種も可能です。

### ワクチンニ刀流



### ○インフルエンザワクチン

①こども・妊婦の接種費用の一部助成

<対象>生後6か月～令和4年度内に18歳の方、妊婦の方

<助成額>1回あたり2,500円

②高齢者インフルエンザ

<対象>65歳以上の方など

<料金>1,400円

※①②とも令和4年12月28日まで